

2026年4月6日
商工中金

産業用計測機器を製造する株式会社マツシマメジャテックに対し、 ポジティブ・インパクト・ファイナンスでサポート

株式会社商工組合中央金庫（本社：東京都中央区、代表取締役社長：関根 正裕、以下「商工中金」）の北九州支店は、株式会社マツシマメジャテック（本社：福岡県北九州市、代表者：池田 憲俊）に対し、サステナブル経営に必要な資金として1億円を融資しました。本融資については、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社は、産業用の計測機器や安全制御装置を製造しています。粉体・液体・粉塵などを計測する独自のセンシング技術を強みに、鉄鋼やセメントなど過酷な産業現場での使用を想定した、実用性の高い製品を開発・製造しています。

今回同社は、製造工程の省エネルギー化によるCO2排出量の削減や健康で安心できる職場環境の整備の取組み等を通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関するKPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社KPI詳細は、商工中金HP掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた綿密な事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

【株式会社マツシマメジャテックの概要】

所在地	福岡県北九州市八幡西区則松東1-8-18
代表者	池田 憲俊
資本金	3,500万円
従業員数	115名（2026年3月時点）
設立	1946年1月
業種	粉体・液体用レベル計、粉塵計、ベルトコンベヤ保護機器等の製造



【同社製品】

(※)「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして㈱日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

